

マーケットの動き（2025年3月31日～4月4日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。週初より、トランプ米政権による関税政策を意識した買いが優勢でした。週後半に、各国への相互関税が発表され事前想定していた水準を上回る結果となったことを受け、米景気の悪化や貿易戦争激化への懸念から引き続き相対的に安全資産である債券に買いが入り国内長期金利は急低下しました。

クレジット市場は、リスク回避の動きが広がったことを受け、軟化しました。

投資環境見通し（2025年4月）

国内長期金利はレンジ内で推移

日銀総裁は政策金利の据え置きを決定し、米国関税政策の動向と影響をはじめ、世界景気や国内物価の動向を慎重に見極める姿勢を示しました。「低水準の実質金利」の下で日銀は今後も賃金動向や物価情勢を注視しつつ利上げ姿勢を強めていますが、米国関税政策を巡る先行き不透明感に加えて国内景気が鈍化するとの懸念もあります。足元でみられた国内長期金利の上昇についてはドイツ長期金利の影響もあったとみられ、さらなる上昇は限定的で次第にレンジ内での動きになるとみています。

	4月4日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.18	▲0.38	▲0.24	0.30	0.41
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	357.25	2.65%	1.62%	▲1.47%	▲2.26%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202504_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2024年3月29日～2025年4月4日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年3月29日～2025年4月4日）



※2024年3月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>